

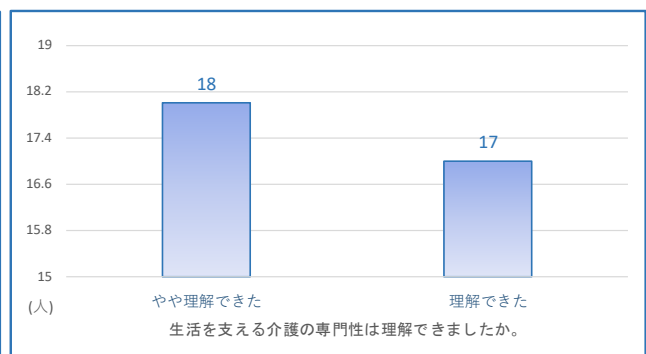
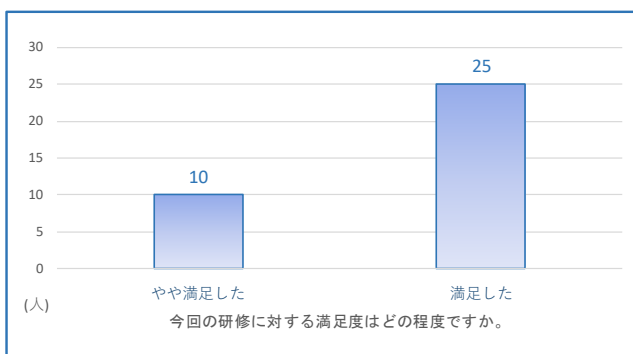
令和4年3月23日

ニコニコタウンきいれグループ
サービス向上委員会

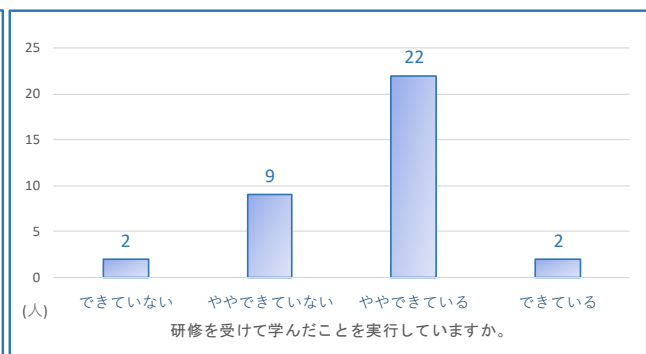
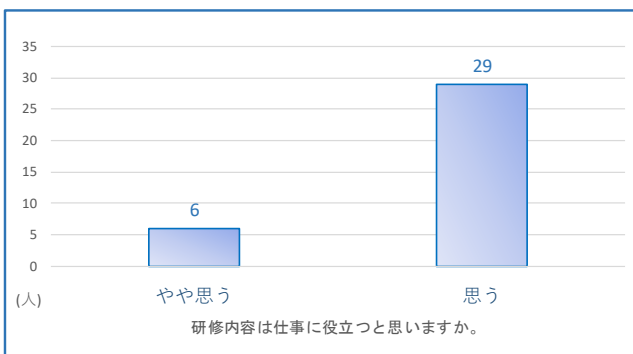
スタッフ研修に関するアンケート調査結果

2022年度ニコニコタウンきいれグループにおけるスタッフ研修に関するアンケート調査を実施しました。研修に参加した35名に対して、研修の満足度・理解度・仕事への活用度・研修内容の実施度と発信度を4件法で答えてもらいました。

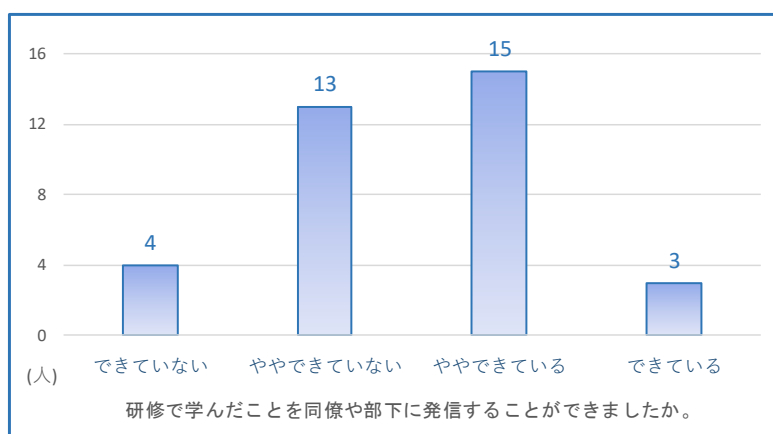
研修の満足度は、「やや満足した」10人、「満足した」25人であり、「満足しなかった」「やや満足しなかった」と答えたスタッフはいませんでした。介護の専門性における理解度は、「やや理解できた」18人、「理解できた」17人であり、「理解できなかった」「やや理解できなかった」と答えたスタッフはいませんでした。全てのスタッフが研修を満足し、介護の専門性について理解できていました。



研修内容が仕事に役立つと思うかについて、「やや思う」6人、「思う」29人であり、「思わない」「やや思わない」と答えたスタッフはいませんでした。研修を受けて学んだことを実行しているかについて、「できていない」2人、「ややできていない」9人であり、「ややできている」22人、「できている」2人でした。「できている」「ややできている」と答えたスタッフは24人(68.6%)でした。全てのスタッフが研修内容を仕事に役立つと思っていました。



研修で学んだことを同僚や部下に発信することができたかについて、「できていない」4人、「ややできていない」13人、「ややできている」15人、「できている」3人でした。「できている」「ややできている」と答えたスタッフは18人(51.4%)でした。



各項目の関連性をみるために、クロス表を作成しカイニ乗検定を実施しました。そのうえで、どのセルが有意な関連に寄与しているのかを確認するために、調整済み残差を算出しました。さらに、変数間の効果量を Cramer'V で調べました。データの集計と分析は SPSS ver. 28 を用い、有意確率 5%未満 ($p < .05$ 水準で、 $|dij| \pm 1.96$ 以上) を統計的に有意としました。

研修に満足したスタッフは、介護の専門性を理解できたと答えたスタッフが有意($p < .05$)に多く、やや理解できたと答えたスタッフが有意($p < .05$)に少なく、研修で学んだことを実行できていないスタッフが有意($p < .05$)に少ないことが示されました。研修に満足したスタッフは、研修内容を同僚や部下にやや発信できているスタッフが有意($p < .05$)に多く、発信できていないスタッフは有意($p < .01$)に少なく、大きな効果($V=0.662$)が認められました。一方、研修に「やや満足した」スタッフは、介護の専門性が理解できたスタッフが有意($p < .05$)に少なく、「やや理解できた」スタッフが有意($p < .05$)に多く、練習で学んだことを「実行できていない」スタッフが有意($p < .05$)に多いことが示されました。研修に「やや満足した」スタッフは、研修内容を同僚や部下への発信が「ややできている」スタッフが有意($p < .05$)に少なく、「できていない」スタッフは有意($p < .01$)に多く、大きな効果($V=0.662$)が認められました。なお、研修の満足度を「満足しなかった」「やや満足しなかった」と答えたスタッフはみられず、介護の専門性を「理解できなかった」「やや理解できなかった」と答えたスタッフはみられませんでした。

研修の満足度と介護の専門性の理解度・研修内容の実行度・研修内容の発信度に関するクロス表

(N = 35)

		生活を支える介護の専門性は理解できましたか			研修を受けて学んだことを実行していますか						研修で学んだことを同僚や部下に発信することができましたか					
		やや		合 計	できていない	ややできていない	ややできている	できている	合 計	できていない	ややできていない	ややできている	できている	合 計		
		理解できた	理解できた													
		N	%		N	%	N	%		N	%	N	%			
今回の研修に対する満足度はどの程度ですか	やや満足した	8	80.0%	10	2	20.0%	4	40.0%	10	4	40.0%	5	50.0%	10	10.0%	100%
	dij	2.1*	-2.1*		2.3*	1.2	-1.8	-0.9		3.4**	1.0	-2.5*	-1.1			
	N	10		25	0	5	18	2	25	0	8	14	3	25		
	満足した	40.0%	60.0%	100%	0.0%	20.0%	72.0%	8.0%	100%	0.0%	32.0%	56.0%	12.0%	100%		
合 計	dij	-2.1*	2.1*		-2.3*	-1.2	1.8	0.9		-3.4**	-1.0	2.5*	1.1			
	N	18		35	2	9	22	2	35	4	13	15	3	35		
	%	51.4%	48.6%	100%	5.7%	25.7%	62.9%	5.7%	100%	11.4%	37.1%	42.9%	8.6%	100%		
	P	$\chi^2(1)=4.575, p < .032, V=0.362$				$\chi^2(3)=8.075, p < .044, V=0.480$				$\chi^2(3)=15.350, p < .002, V=0.662$						

* $p < .05$, ** $p < .01$

研修により介護の専門性を「理解できた」スタッフは、研修内容が仕事に役立つと「思う」と答えたスタッフが有意($p<.05$)に多く、「やや思う」と答えたスタッフが有意($p<.05$)に少ないことが示されました。一方、介護の専門性を「やや理解できた」スタッフは、研修内容が仕事に役立つと「思う」と答えたスタッフが有意($p<.05$)に少なく、「やや思う」と答えたスタッフが有意($p<.05$)に多いことが示されました。なお、介護の専門性を「理解できなかった」「やや理解できなかった」と答えたスタッフはみられず、研修内容が仕事に役立つと「思わない」「やや思わない」と答えたスタッフはみられませんでした。効果の程度は中程度の効果($V=0.442$)が認められました。

介護の専門性の理解度と研修内容の役立ち度に関するクロス表 (N=35)

* $p<.05$, ** $p<.01$

研修内容を同僚や部下に発信できているスタッフは、研修で学んだことの実行を「できている」スタッフが有意($p<.05$)に多く、やや発信できているスタッフは、研修で学んだことの実行を「ややできている」スタッフが有意($p<.05$)に多いことが示されました。一方、発信がややできていないスタッフは、研修で学んだことの実行を「ややできていない」スタッフが有意($p<.05$)に多く、発信できていないスタッフは、研修で学んだことの実行を「できていない」スタッフが有意($p<.05$)に多いことが示されました。効果の程度は大きな効果($V=0.662$)が認められました。

研修内容の発信度と実行度に関するクロス表 (N=35)

* $p<.05$, ** $p<.01$

まとめ

研修の満足度は介護の専門性における理解度に関連があり、研修内容を現場で実行することに影響を及ぼしていました。加えて、研修の満足度は研修内容に関する同僚や部下への発信に強い関連が示されました。介護の専門性を理解することが研修内容に関する仕事への活用性の認識に影響を及ぼし、研修内容を同僚や部下に発信する程度と研修内容における現場での実行度合いとは強い関連が示されました。